

COUNTRY RISK WEEKLY BULLETIN

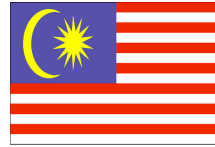
09 September 2009

IN THE HEADLINES



サウジアラビア

USD1,000 億ドルの 5 年開発プロジェクトによって、原油生産能力は記録的な 1 日あたり 12.5 百万バレルとなった。現状の 8.3 百万バレル/日の生産量を大きく拡大させるものであり、世界中の産業での投資の削減傾向とは大きく異なる。これにより長期的な供給にかかる懸念を緩和させるものかもしれないがサウジアラビアは世界の余剰原油(生産)能力の 90%を占めるため、世界が同国の供給に更に大きく依存することになるだろう。OPEC は今週(9/9 の週)に会合を開く予定である。サウジアラビアが現状の生産限度に対して「不変」の政策を推進することになるだろうが、それは現在の原油価格が OPEC の目標価格水準の USD70-80 ドル/バレルにあり、相対的に価格が安定していることによるものである。



マレーシア

実質 GDP の縮小は、第 1 四半期の前年同期比 6.2%から、第 2 四半期には同 3.9%まで緩和した。民間消費は転換を見せ、第 1 四半期に-0.7%となった後、第 2 四半期には 0.5%伸び、公的支出も 1%伸びた。投資は依然として弱く、9.8%縮小した(第 1 四半期には 10.8%の縮小となった)。輸出(-17.3%)・輸入(-19.7%)ともに第 2 四半期も引き続き縮小した。前四半期比での統計の方が回復の兆しを示しており、第 1 四半期に 7.8%下落した後、第 2 四半期には 4.8%上昇している(季節変動分非調整)。デフレは 7 月に前年同月比-2.4%となったが、中央銀行は 8 月末時点で主要政策金利を 2%のまま不変とした。暦年 2009 年において GDP は 3.5%程度縮小することが見込まれよう。



メキシコ

9 月 8 日に下院に提出された 2010 年度予算は、原油収入の減少を反映し、控えめな増税と支出削減-3 つの政府の部局の削減を含む一が盛り込まれている。目的は支出を GDP の 1.5~2%削減することである。GDP は 2009 年に 6.8%縮小、2010 年に 3%増加し、原油価格は 2010 年に USD53.9 ドル/バレルという想定である。しかし、下院は野党によって支配されており、全ての品目(今まで除外されていた食料も含む)に新しくかけられる売上税といったセンシティブなものも含まれていることから通過はスムーズにいかないかもしれない。方々、カルデロン大統領は法務大臣、農業大臣と国営石油会社の社長を交替させた。



ガボン

与党ガボン民主党のアリ・ベン・ボンゴ氏(6 月に逝去した前大統領の息子)が 47.1%を得票し大統領選で勝利した。他の 2 候補の得票は各々 25%程度であった。政治的な反対勢力は選挙戦で不正があったと訴え、街頭、とりわけ第 2 の都市のポート・ジャンティルで暴動が起こっている。ボンゴ氏は陸軍を掌握している模様であり、その勝利はフランスによっては認識されているため、結果は変わらないだろう。しかし、引き続き反対行動と民族間での衝突、政策実施の中断と貿易面での混乱はあるだろう。

ALSO IMPORTANT...



ウルグアイ

大統領および立法府の選挙が 10 月 25 日に近づいており、与党の候補者、ホセ・ムジカ氏は次点の国民党(PN)のアルベルト・ラルカル氏より顕著にリードを奪っており、さらにモメンタムを加速させている。しかし、直近の地方選ではムジカ氏の 47%に対しラルカル氏は 34%と、1 選目での勝利は難しい模様であり、11 月に再選をすることになるだろう。ムジカ氏は 2 期目の立候補が出来ない現職の大統領と同じく拡大戦線(F.A)の左翼から来ているものの、彼のライバルと次の財務大臣と見られる候補者と共に中道派と見られている。これらは政策の継続性を担保するものといえるだろう。



東アフリカ共同体

東アフリカ共同体(EAC)の加盟 5 カ国 - ブルンディ、ケニア、ルワンダ、タンザニアとウガンダ - は東アフリカ通貨同盟(EAMU)の協議をするために集まる予定である。EAMU は EAC 統合のための 3 本目の柱であり、既に開税同盟は結ばれ、共通市場は 2010 年には実施される予定である。EAMU と共通通貨の実現はまだ先の話だが当該地域は前向きの動きを見せている。更なる統合は東アフリカからアジアに向けてのコモディティの流れによって促進されるだろうが、このためにはインフラに多額の支出が必要であるため、今後中国からの投資が見込まれることだろう。

COUNTRY REVIEW SUMMARIES



ロシア

2009 年 2 月以来、ルーブルの為替レートと外準の水準の安定は継続している。インフレが幾分収まったこともあり(8 月に前年同月比 11.6%という高い水準ではあるものの)、政策金利は 4 月から合計で 225bps 引き下げられている、財政刺激策はかなり顕著なものであり、2009 年には大きな赤字を計上することになるだろう。それにもかかわらず第 2 四半期に景気後退は深化し、前年同期比 10.9%縮小した(第 1 四半期には 9.8%の縮小)。推定 USD1,000 億ドルと言われる 1 年以内に返済が必要な非ソブリンの対外債務の借り換えについては深刻な問題である。銀行セクターは依然として弱いが、システミックな銀行セクター崩壊の可能性は低い。



ドミニカ共和国

大統領選は 2012 年まで実施される予定はないが、議会選挙は 2010 年 5 月に予定されている。政府の人氣が落ちてきている中、与党ドミニカ革命党(PRD)の立法府での過半数は圧力にさらされているが、野党ドミニカ解放党(PLD)は内部分裂している。インフレ率と経常収支赤字は季節しているが、これは経済成長と支出削減を推進する財政緊縮との犠牲のもとに成り立っている(成長率は 2009 年にはゼロ、2010 年には 2%程度しか見込まれない)。しかし、金融政策は連続した金利引下げによって緩和された。対外流動性は全般的に弱いものの、対外債務はさほど多くなく、為替レートはフレキシブルに管理されている。

IN BRIEF

金価格 1 オンス辺り USD1,000 ドルを越えた。足元までの年平均は 1 オンス辺り 924 ドル、2008 年では同 872 ドルであった。

Edited by Andrew Atkinson

The content of the report (which is subject to change without notice) reflects only our opinion, which is based on information received by us. Accordingly no warranty, representation or other assurance is given as to the accuracy or completeness of the report. The report is for general information and is not intended to address any requirements you may have, for which you must obtain independent advice. The report does not constitute any form of advice, recommendation or arrangement by Euler Hermes UK plc or by the Euler Hermes Group of Companies and must not be relied upon in the making of any decision, agreement or arrangement. © Euler Hermes UK plc 2008.